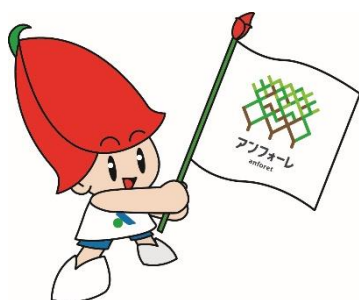


安城市図書館 運営基本計画

【改訂版】

【2020 年度～2029 年度】

市民のライフステージをサポートする
「知の情報拠点」を目指して



2025(令和7)年4月
愛知県安城市



安城市図書館運営基本計画の中間見直しにあたり

本市では、市域全体の図書館サービス体制及び運営体制等における１０年後のあるべき姿を示すため、２０２０（令和２）年４月に「安城市図書館運営基本計画」を策定しました。本計画の基本理念を「市民のライフステージをサポートする「知の情報拠点」を目指して」とし、４つの基本方針と重点施策に基づき、施設の運営や図書館サービスの提供を行ってまいりました。

２０１７（平成２９）年６月に開館したアンフォーレ・図書情報館は、利用者の利便性を最優先にした独自分類での本の並びの採用や ICT 機器類を活用した貸出業務の省力化により、職員による利用者への丁寧な対応が可能となったことなどが評価され、２０２０（令和２）年に、これからの図書館のあり方を示唆するような先進的な活動を行っている機関に対して贈られる「Library of the Year 2020」優秀賞及びオーディエンス賞を受賞しました。その他にも、図書情報館は、国立国会図書館が運営するレファレンス協同データベースへの事例登録件数が多いことから、１１年連続で礼状をいただいております。こうした状況の一方、近年は、図書館サービスの主要な状況を示す図書館資料の貸出冊数や貸出をされる実利用者数などの数値の伸び悩みが見られています。

また、本市では、２０２４（令和６）年４月からスタートした第９次安城市総合計画において、目指す都市像を実現するための重点施策「子どもを核としたまちづくり」を掲げ、本市の全分野の施策に「子どもを育む」という視点を取り入れ、全ての市民の幸せの実現を目指しています。

国では、２０２０（令和２）年に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」を策定し、障害の有無に関わらず、全ての人が読書を楽しめる環境整備の考えが示されるなど、近年では、多様な背景を持つ人が分け隔てなく、施設やサービスを利用しやすい配慮が重要となっています。

こうした様々な課題や社会情勢の変化に対応するため、今回、本計画の中間見直しを行いました。主な見直しの内容として、全ての取組みにおいて「子どもを育む」を意識する考え方を示す「子どもプロジェクト」の設定や、さらに、新たな重点施策として、「読書バリアフリーサービス」、「多文化共生サービス」を設定しました。この見直しした計画に基づき、今後も、多くの市民が、喜んで快適に利用いただけるよう、適切な施設の運営と図書館サービスの提供に努めてまいりたいと考えております。

最後に、今回の中間見直しに際して、ワークショップやパブリックコメントなどで貴重なご意見やご提案をいただきました市民の皆様、熱心にご審議いただきました図書館協議会委員の皆様にご心から感謝申し上げますとともに、今後の計画の実現に向けて一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

安城市長 三星元人

安城市図書館運営基本計画

～ 目 次 ～

安城市図書館運営基本計画の中間見直しにあたり

I	安城市図書館運営基本計画の策定にあたって・・・・・・・・・・	1
I-1	計画策定の根拠と目的	
I-2	図書館振興施策の流れ	
I-2-1	国の施策の流れ	
I-2-2	愛知県の施策の流れ	
I-2-3	本市の施策の流れ	
II	本市の図書館サービスの現況と課題・・・・・・・・・・	7
II-1	アンケート結果と市民の声	
II-1-1	利用者満足度アンケート	
II-1-2	e モニターアンケート	
II-1-3	市長へのメールやご意見箱	
II-2	運用サービス上の課題の整理	
II-2-1	「望ましい基準」における本市の現状	
II-2-2	図書情報館開館以降の特徴（強み）と課題（弱み）	
II-3	図書館サービスのあるべき姿とは	
III	図書館運営の基本方針・・・・・・・・・・	16
III-1	今後の図書館サービスのあり方	
III-1-1	計画の位置づけと計画期間	
III-1-2	図書館運営の基本理念・基本方針と重点施策	
IV	重点施策の点検と評価・・・・・・・・・・	32
IV-1	目標の進捗管理	
V	資料編・・・・・・・・・・	33